

## 介護職員初任者研修カリキュラム

事業者名 生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープ

研修事業の名称 パルシステム神奈川ゆめコープ 介護職員初任者研修

1 職務の理解（6時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①多様なサービスの理解	3時間	<講義内容> ・介護職が働くサービス現場にどのようなものがあるか、介護保険サービス(居宅・施設)とそれ以外(障害者(児)サービス)について理解する。 <演習内容> ・介護現場の映像紹介を通し、介護サービスの内容を知る
②介護職の仕事内容や働く現場の理解	3時間	<講義内容> ・多様な居宅、施設サービス現場におけるそれぞれの仕事内容を理解する。講師による講義のほか、さまざまな現場について視聴覚教材を活用して理解を深める。 ・ケアプランから始まりサービス提供にいたるまでの一連の流れ、チームアプローチ多職種との連携等、介護サービスの提供についてのイメージを持たせる。 <演習内容> ・介護現場の映像紹介を通し、介護職への理解を深める。
合計	6時間	
2 介護における尊厳の保持・自立支援（9時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①人権と尊厳を支える介護	6時間	<講義内容> ・次の項目について事例を示しながら理解する。ア)人権と尊厳の保持 イ)QOL ウ)ノーマライゼーション エ)身体拘束禁止 オ)虐待防止 カ)個人の権利を守る制度 <演習内容> ・上記 ア)～カ)のうち2～3テーマについて事例を基にグループワークを行う。
②自立に向けた介護	3時間	<講義内容> ・自立支援、介護予防について事例を示しながら理解する。 <演習内容> ・検討事例を示し自立支援、介護予防という考え方に基づいたケアについてグループワークを行う。
合計	9時間	

3 介護の基本（6時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①介護職の役割、専門性と多職種との連携	3時間	<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各介護現場での介護職の役割を理解する。地域包括支援センター創設の背景からチームアプローチの意味を理解する。</li> <li>・家族による介護と専門職による介護の相違点を挙げながら、介護の専門性を理解する。</li> <li>・福祉、保健、医療分野の各専門職の業務内容や範囲を周知し、多職種連携の重要性について理解する。</li> </ul> <p>&lt;演習内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種間での情報共有がどんなメリットをもたらすか事例を通し討議する。</li> </ul>
②介護職の職業倫理	1時間	<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職の職業倫理の重要性を理解し介護職が利用者や家族等と関わる際の留意点を理解する。</li> </ul>
③介護における安全の確保とリスクマネジメント	1時間	<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援の場で出会う典型的な事故や感染、介護における主要なリスクを理解する。</li> <li>・事故防止、安全対策、感染防止対策、リスクマネジメント、分析の手法と視点、事故にいたった経緯の報告、情報の共有を学ぶ。</li> </ul>
④介護職の安全	1時間	<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職に起こりやすい健康障害や受けやすいストレス、またそれらに対する健康管理、ストレスマネジメントあり方を理解する。</li> </ul>
合計	6時間	

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携（9時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①介護保険制度	3時間	<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険制度創設の背景及び目的、動向を理解する。</li> <li>・仕組みの基礎的理解をする。</li> <li>・制度を支える財源、組織・団体の機能と役割を理解する。</li> </ul> <p>&lt;演習内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険制度に関する資料収集をし、講義で学んだ内容の理解を深める。</li> </ul>
②医療との連携とリハビリテーション	4時間	<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健医療サービスと福祉サービスを同時に必要とするにあたり、サービスを総合の連携の下、総合的・効果的に提供する仕組みを理解する。</li> <li>・介護職と医行為について理解する。</li> <li>・訪問看護について理解する。</li> <li>・施設における看護と介護の役割・連携を理解する。</li> <li>・リハビリテーションの理念を理解する。</li> <li>・チームアプローチであるリハビリテーションの内容、種類を理解する。</li> <li>・リハビリテーションスタッフの役割と、介護職の役割の基本を理解する。</li> </ul>
③障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律およびその他の制度	2時間	<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律創設の背景及び目的、動向を理解する。</li> <li>・仕組みの基礎的理解をする。</li> <li>・制度を支える財源、組織・団体の機能と役割を理解する。</li> <li>・個人の権利を守る制度の概要を理解する。個人情報保護法、成年後見制度、日常生活自立支援事業等</li> </ul>
合計	9時間	

5 介護におけるコミュニケーション技術（6時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①介護におけるコミュニケーション	3時間	<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割を理解する。</li> <li>・コミュニケーションの技法、道具を用いた言語的コミュニケーションを理解する。</li> </ul> <p>&lt;演習内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者、家族とのコミュニケーションについてグループワークを行う。 （利用者の思いの把握、意欲低下の要因、家族心理、家族へのいたわりと励まし、信頼関係の形成）</li> <li>・利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションについてグループワークを行う。 （視覚・聴力の障害に応じたコミュニケーション技術、失語症、構音障害、認知症に応じたコミュニケーション技術）</li> <li>・コミュニケーションの技法・方法を1対1で行う。</li> </ul>
②介護におけるチームコミュニケーション	3時間	<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記録における情報の共有化を理解する。</li> <li>・コミュニケーションを促す環境を理解する。</li> </ul> <p>&lt;演習内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報告、連絡、相談について事例を基にグループワークを行う。</li> <li>・記録の重要性を理解し、作成演習を行う。</li> </ul>
合計	6時間	
6 老化の理解（6時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①老化に伴うこころとからだの変化と日常	3時間	<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴を理解する。</li> <li>・老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響を理解する。</li> </ul> <p>&lt;演習内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防衛反応の変化、喪失体験</li> <li>・身体的機能の変化と日常生活への影響、筋・骨・関節の変化、精神的機能の変化と日常生活への影響について討議し、理解を深める。</li> </ul>
②高齢者と健康	3時間	<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の疾病と生活上の留意点を理解する。</li> <li>・高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点を理解する。</li> </ul>
合計	6時間	

7 認知症の理解(6時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①認知症を取り巻く状況	1時間	<講義内容> ・認知症ケアの理念を理解する。
②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2時間	<講義内容> ・認知症の概念、認知症の原因疾患とその病態、原因疾患別ケアのポイント、健康管理を理解する。
③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	2時間	<講義内容> ・認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴を理解する。 ・認知症の利用者への対応を理解する。 <演習内容> ・資料映像を元にグループ討議を行い、認知症患者に対する対応の仕方の理解を深める。
④家族への支援	1時間	<講義内容> ・認知症の受容課程での援助を理解する。 ・介護負担軽減を理解する。
合計	6時間	
8 障害の理解(3時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①障害の基礎的理解	1時間	<講義内容> ・障害の概念とICFを理解する。 ・障害者福祉の基本理念を理解する。
②障害の委託的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎知識	1時間	<講義内容> ・障害種別ごとに医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等を理解する。 身体障害(視覚、聴覚・平衡、音声・言語、肢体不自由、内部)知的障害 精神障害(統合失調症、気分障害、依存症等の精神疾患、高次脳機能障害、発達障害<広汎性、学習障害など>)
③家族の心理、かかわり支援の理解	1時間	<講義内容> ・家族への支援を理解する。 <演習内容> ・事例を基に家族へのかかわりを討議し理解を深める。
合計	3時間	

9 こころとからだのしくみと生活支援技術（75時間）			
	項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
基本知識の学習	①介護の基本的な考え方	3時間	<講義内容> ・理論と法的根拠に基づく介護を理解する。
	②介護に関するこころのしくみの基礎的理解	3.5時間	<講義内容> ・学習と記憶の基礎知識を理解する。 ・感情と意欲の基礎知識を理解する。 ・自己概念と生きがいを理解する。 ・老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因を理解する。 ・こころの持ち方が行動に与える影響を理解する。 ・からだの状態がこころに与える影響を理解する。
	③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	3.5時間	<講義内容> ・人体の各部の名称と動きに関する基礎知識を理解する。 ・骨、関節、筋に関する基礎知識、ボディメカニクスの活用を理解する。 ・中枢神経系と体性神経に関する基礎知識を理解する。 ・自律神経と内部臓器に関する基礎知識を理解する。 ・こころとからだを一体的に捉える。 ・利用者の様子の普段との違いに気づく視点を理解する。
生活支援技術の講義・演習	④生活と家事	4時間	<講義内容> ・家事と生活の理解、家事援助に関する基礎的知識と生活支援を理解する。
	⑤快適な住環境整備と介護	5時間	<講義内容> ・快適な居住環境に関する基礎知識、高齢者・障害者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法を理解する。
	⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	7時間	<講義内容> ・整容に関する基礎知識、整容の支援技術を理解する。 <演習内容> ・身体状況に合わせた衣服の選択、着脱・身じたく・整容行動・洗面の意義・効果

<p>⑦移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	<p>7時間</p>	<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動・移乗に関する基礎知識、さまざま移動・移乗に関する用具とその活用方法、利用者、介助者にとって負担の少ない移動・移乗を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法、移動と社会参加の留意点と支援を理解する。</li> </ul> <p>&lt;演習内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者と介護者の双方が安全で安楽な方法</li> <li>・利用者の自然な動きの活用、残存能力の活用</li> <li>・自立支援</li> <li>・重心、重力の働きの理解</li> <li>・ボディメカニクスの基本原理</li> <li>・移乗介助の具体的な方法(車イスへの移乗の具体的な方法、全面介助でのベッド・車イス間の移乗、全面介助での車イス・洋式トイレ間の移乗)</li> <li>・移動介助(車イス・歩行器・つえ等)</li> <li>・視覚障害者の歩行介助・じょくそう予防</li> <li>・体位交換</li> </ul>
<p>⑧食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	<p>7時間</p>	<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事にに関する基礎知識、食事環境の整備・食事に関連した用具・食器の活用方法と食事形態とからだのしくみ、楽しい食事を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法、食事と社会参加の留意点と支援を理解する。</li> <li>・口腔ケアの必要性を理解する。</li> </ul> <p>&lt;演習内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事と姿勢</li> <li>・食事に關した福祉用具の活用と介助方法</li> <li>・口腔ケアの手順を理解する。</li> </ul>
<p>⑨入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	<p>7時間</p>	<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴、清潔保持に関連した基礎知識、さまざまな入浴用具と整容用具の活用方法、楽しい入浴を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法を理解する。</li> <li>・全身浴の方法を理解する。</li> </ul> <p>&lt;演習内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・羞恥心や遠慮への配慮</li> <li>・体調の確認</li> <li>・全身清拭(身体状況の確認、室内環境の調整、使用物品の準備と使用方法、全身の拭き方、身体の支え方)</li> <li>・目、鼻腔、耳、爪の清潔方法</li> <li>・陰部清浄(臥床状態での方法)</li> <li>・全身浴、足浴、手浴、洗髪</li> </ul>
<p>⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	<p>7時間</p>	<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄に関する基礎知識、さまざまな排泄環境整備と排泄用具の活用方法、爽快な排泄を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法を理解する。</li> </ul> <p>&lt;演習内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プライバシーの確保</li> <li>・一部介助を要する利用者のトイレ介助の具体的な方法</li> <li>・便秘の予防(水分の摂取量保持、食事内容の工夫/繊維質の食物を多く取り入れる、腹部マッサージ)</li> <li>・排泄関連用具の使用方法を学ぶ(ポータブルトイレ、差し込み便器、尿器、紙おむつ)</li> </ul>

	⑪睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7時間	<講義内容> ・睡眠に関する基礎知識、さまざまな睡眠環境と用具の活用方法、快い睡眠を妨害するところとからだの要因の理解と支援方法を理解する。 <演習内容> ・ベッドメイキング・安眠のための介護の工夫 ・環境の整備(温度や湿度、光、音、よく眠るための寝室) ・安楽な姿勢 ・じょくそう予防
	⑫死にゆく人に関したところとからだのしくみと終末期介護	3時間	<講義内容> ・終末期に関する基礎知識とところとからだのしくみ、生から死への課程、「死」に向きあうところの理解、苦痛の少ない死への支援を理解する。 <演習内容> ・終末期ケア、臨終が近づいたときの兆候と介護、介護従事者の基本的態度、情報共有の必要性についてグループワークを行う。
	⑬介護課程の基礎的理解	4時間	<講義内容> ・介護課程の目的を理解する。 ・介護課程とチームアプローチを理解する。 <演習> ・個別援助計画書の作成
生活支援技術演習	⑭総合生活支援技術演習	7時間	<講義内容> ・生活の各場面での介護について、ある状態像の利用者を想定し、一連の生活支援を提供する流れの理解と技術の習得、利用者の心身の状況にあわせた介護を提供する視点の習得を目指す。 <演習内容> ・事例の提示→ところとからだの力が発揮できない要因の分析→適切な支援技術の検討→支援技術演習→支援技術の課題(1事例1.5時間程度で上のサイクルを実施する) ・事例は片マヒ、認知症の2事例を実施。
10 振り返り (4時間)			
	項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
	①振り返り	2時間	<演習内容> ・以下についてグループワークを行う。 ア)研修を通じて学んだこと イ)今後継続して学ぶべきこと ウ)根拠に基づく介護についての要点
	②就業への備えと研修終了後における継続的な研修	2時間	<講義内容> ・継続的に学ぶべきことを理解する。 <演習内容> ・研修終了後における継続的な研修について、具体的にイメージできるような事業所等における事例を紹介する。
	合計	4時間	
全カリキュラム合計時間		130時間	

※規定時間数以上のカリキュラムを組んでもかまわない。